

## 御宿小学校校舎更新に係る経過説明会議事録

日時:令和4年11月26日(土)

午後4時から5時30分

場所:御宿町公民館大ホール

### 1. 開会

(事務局) それでは、時間になりましたので、始めさせていただきます。  
本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまより、御宿小学校校舎更新に係る経過説明会を開催いたします。

(事務局) まず始めに石田町長よりご挨拶申し上げます。

### 2. 町長あいさつ

(町長) 皆さん、こんにちは。町長の石田でございます。本日皆様方にはお忙しい中、お休みのところ、また足音の悪い中、小学校校舎更新に関わります経過説明会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。日ごろ、皆様方には教育行政をはじめといたしまして、行政全般にわたりご理解、ご協力をいただいております事に厚く御礼を申し上げます。さて、5月に、小学校校舎更新に関わりますご案内をさせていただいたところでございますが、小学校の老朽化が進みまして、徐々に建て替えの準備をしていかなきゃいけないという時でございます。これまでトイレの改修、あるいはさまざまなコロナ感染症拡大防止対策や、さらにはエアコン設置など教育環境の改善をすすめてきたところでございますが、老朽化が進んでおりますので、準備を進めております。本年3月に、教育施設検討委員会を設置いたしました。委員の皆様方には町議会議員の皆様、また保護者代表の皆様、そして教育団体の代表の皆さん、そして各学校の校長先生方も入っていただきまして11名の皆様で検討委員会を設置したところでございます。この検討委員会設置にあたりましてはじめに御宿小学校更新に係る必要性とか、今後のスケジュールと申し上げましたけど、そのようなさまざまな検討をしてきていただいているところでありますが、その中の一つと致しまして、候補地の選定というものがございます。この候補地の選定に関しましてははじめに、まず執行部から4つの候補地についてご提案をさせていただきました。まず第1には現在御宿小学校が建っている場所に立地している場所、そして、中学校が建っている場所、さらには線路の反対側になりますが、B&G海洋センターあるいは町営グラウンドがあるところがございます。そして4つ目に布施小学校が建っている場所でございます。この4つの候補についてご提案申し上げましたけど、前回の説明会の中で御宿台についてはどうして候補にならないんですかという話をごいしましたけど、現在、こども園の隣にですね、町有地がありますけど、およそ約10,000㎡になります。小

学校用地としてはちょっと小さすぎます。布施小学校の敷地は17,000㎡、御宿小学校24,000㎡ぐらいでございますので、御宿台は無理かと。かといって、新しい土地を購入する場合は非常に、大きな事業予算がかかりますので、それはちょっと控えさせていただいたわけでございますが、このように4つの候補ですね。ご提案させていただきまして。選定するにあたりまして、いくつかのことをお願いを申し上げました。第1にですね、皆様、ご承知のように東日本大震災を教訓にですね。やはり海に面する我が町でありますから、大きな地震があった時の津波災害を念頭に対応していかなければならない。その辺を考慮してください。そして2つ目に勉学あるいは教育に関して、やはり静かな環境であることということで、3つ目には今、人口減少が進んでおりまして、同時に児童生徒の生徒数もかなり減じているところでございますが、20年、30年先を見通した場合、非常に御宿町の人口も減少する推定が出ておりますけど、これからどうしても小中連携という教育方針が社会状況として望まれているところでございますので、小中連携の実現しやすい状況をお願いします。もう1点は財政問題であります。なかなか今どの自治体も厳しい財政状況の中でございますけど、建設事業費についてあまりにも過大にならないようにというお願いをしますということで、この4つのお願いしまして、選定をお願いしたところ、結果的にですね、2つの候補地に選んいただきました。御宿中学校校が立地している場所と布施小学校が立地している場所でございます。そのようなことで、今に至っておりますが、これまでの説明会が4回目の説明会でございますが、これまでさまざまなご意見をいただいているところでございます。この4回の説明会のご質問をいただいた内容をまとめましてアンケートをいただく時にですね。そういった資料を添付させていただきまして、またその質疑内容の他にですね、4つの候補地の良い所とか問題点とか、あるいは2つに絞った経緯とか、そういった参考資料です。皆さんにお配りいたしまして、皆さんがより良い選択肢ができるように、お願いしたいなど、執行部といたしましても、そのようにさせていただければなあと思います。御宿小学校につきましては、築54年経っております。コンクリート構造物はおよそ60年が耐用年限と言われておりますので、その辺からいきますと令和9年3月が耐用年限になります。そういうことで、今後のスケジュールを立てながらですね。そして皆さんのご意見を伺いながら、事業を進めてまいりたいと考えておりますので、これからよろしくお願い申し上げます。この後、児童生徒の推移とかですね、あるいはこれまでの協議経過等についてご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(事務局) 本日出席の職員の紹介をさせていただきます。  
石田御宿町長です。よろしくお願います。  
前森教育長です。どうぞよろしくお願います。  
吉野教育課長です。よろしくお願いいたします。  
本日、司会進行を務めさせていただきます。平松です。よろしくお願いいたしま

す。

### **3. 議題**

#### **議題1 御宿町の児童生徒数の推移について**

平松主査より資料1により説明

#### **議題2 御宿小学校更新に係る協議経過について**

吉野教育課長より資料2により説明

### **4. 質疑応答**

(事務局) ただ今事務局よりご説明をさせていただきました。これより質疑に入らせていただきます。ご説明させていただきました。内容等につきまして、皆様からご質問等ございますでしょうか。

(保護者) 候補地は4か所から2か所に絞られたということなんですけれども具体的に御宿中学校と、小学校、場所の安全性とかそういったところだと思うんですけれども、決め手っていうのはなんだったのかっていうのを教えていただきたいなと思います。よろしくをお願いします。

(町長) はい、ありがとうございます。候補地を4か所から2か所に絞ったということで、その選定基準とその内容については先ほど4点ですね。ご参考に選定してくださいとお願いしました。例えば御宿中学校については先ほども説明がございましたが、津波災害等の起きた時にですね、子供たちがまず安全じゃなくてはいけないということで、御宿中学校の敷地の現在の高さが御宿小学校の今一番屋上の高さに匹敵する。そして裏山はですね。浅間様の頂上は、布施小学校の敷地の高さにほぼ等しくなっておりますけどおよそ50mです。現在御宿中学校の標高は、14.5mでございますが、まずは安全が確保されるのではないかと。それからもう1点はやはり。小中連携教育を実現しやすいということでもあります。そして、布施小学校においても当然小中連携教育を実現もしていかなければなりませんけれども、場所が離れてますから、それだけなかなか、浸透しにくいというそういう状況があるのかなあとと思います。逆に2つ選定されなかったところと比べまして、例えばB&G海洋センター付近ですと、体育館は少し補修をしておりますけれども、活用は当然できますけど、小学校も全部分を建設しなければいけないこと、グラウンドとか敷地調整がございますので、そういう費用がかかってございます。それと、もう一件は、御宿小学校は津波被害が想定される。今まで元禄地震の津波の高さが8mでございます。で、やはり8m 10mの津波が来た場合はなかなか困難である、孤立する可能性もあるということで、まず第1に子供たちの安全という意味で考えております。それと御宿小学校を例えば4階建てにして3階、4階に教室棟を作って1階、2階に倉

庫、駐車場という考えも考えられました。かなりの建設費の増額状況になりまして、同時に体育館の老朽化しておりますので、建て替えることになりまして、そのようなことで、4か所が2か所に選定されたと認識しております。

(検討委員会委員) 検討委員の一人として検討委員会に参加させていただいております。議員でございます。今、町長からですね。検討委員会での、2つに絞られた経緯ということでお話いただきました。少し補足させていただきますと、当初はですね、委員会で1つにまで絞って欲しいと執行部さんからのご意向もあったんですが、なかなか11人でそこまでっていうのも責任も重大ですし、というところでまずはそれぞれ、私はこういう理由でここがいいんじゃないかっていうようなことを委員さんが、おひとりおひとりご発言をされて、それが、もともとの御宿小の場所が良いと思いますとか、あるいはB&Gが一番いいと思いますというようなご意見は出ずに、布施小がいいと思いますと言う、私もその一人ですけど、あるいは御中がいいと思いますという委員さんがいたってということで、結果的に2つにし、今回4回目の説明会ですけれども、今までいろんな保護者の方から質問だったり、ご意見などがあったと思うんですが、検討会の中でも同じような、例えば、布施小にするとスクールバスの費用がかさんでしまうんじゃないかとかですね。そういう懸念の声が、あるいは、例えば御中だと国道の渋滞の問題がやっぱり心配だよ。御中がある中に御宿小学校の建物狭いんじゃないか、小学生はもっとのびのびと広いところで学ばせてあげたい。そういったようなご意見もあったりとか、それぞれ委員の皆さんから各個人のご意見が出た結果、最終的には一つには絞りきれないので、皆さんがたの意見も伺おうじゃないかというような、流れになったのかなと私の方で認識しています。なので委員会で全会一致で2つみたいなことではなくて、それぞれに委員さんもひとりひとり思いがあって意見があったり質問があったりということで、皆さんも、冒頭に町長からお話ありましたが、委員会で出たような話、それからこの4回で皆さんから出たご意見だったり、質問、その質問に関する回答なんかも最終的に取りまとめて、最終的にアンケートを実施する際の添付資料としてつけますよという話が町長から先程ありましたので、ぜひあの皆さん、思っていることとかですね、ちょっとここはどうなるのかな、よくわからないなあっていうようなことをぶつけていただいて、最終的に添付される資料が充実したものになればなるほど、いい学校が最終的にはできるんじゃないかなというふうに思っていますので、ぜひどしどしですね、発言をしていただければなというふうに思います。以上です。

(議員) 議員の一人です。私は今命の大切さをこれからの子供達の為にもですね充分考えた上で設定してもらいたいなと思いがございます。それはたまたま個人的なことを言って申し訳ないんですけど、うちの家内は東北の岩手といったところですね。2011年の東日本大震災の時に未曾有の大災害でした。小学校、中学校もです

ね。

今まで東北って何回も地震があつて被災を受けてますので、調整して高台へ高台へという感じで学校も作られているんです。にもかかわらず、宮城県の石巻市も大川小学校のところは100人の児童、先生がお亡くなりになったんですよ。これは、皆さんご存知だと思います。それはですね、いつも頭に思うことは、子供たちを何とかですね。その安全な場所に、そして両親が安心して仕事に出かけられる。仮に地震があつても、その小学校にいれば自分たちは自分たちで安全な場所に自分たちが命を守るっていうかね、向こうの言葉で言いますとてんでんことという言葉があるんです。てんでんに自分の命を守りなさいよという言い伝えがあるんです。それをやっぱりあの大地震2万人近くの人が亡くなって、今もですね、大川小学校の子供がまだ見つかってないんですよ。お金も大切だけでも、将来を担う子供達をいかに我々が、子供たちは言葉はないです。こうしてほしいとか。われわれが決めざるを得ないということですね。子供たちを代弁してより安全な場所に教育施設を作ってもらいたい。これは一番のねらいだと思います。そうした中でこの4か所、私自身考えてるんですけど、御宿台のおそば屋さんの前ですね。あれは5,000坪あるんですよ。16,500平米です。旧御宿高校の跡地、一般棟がですね。まだ未使用なんですよ。せっかく買ったんですけど、使っていないんですよ。ああいう場所をなぜ選定の中に入れなかったか、私は高台で安心な場所に子どもたちを学習させたい。そんな思いがですね。そういう場所をなぜお金がかかるとか、そんなことを言われるんですか、これはみんな、借金はこの子供たちが負うんですよ。我々が負うんじゃないですよ。そこを充分考えて、後でこうなったら困ったというようなことはね、絶対我々がすべきじゃない。考えて考えてやっぱりこれは選択だったっていうことを思ってもらいたいですよ。あとで絶対後悔してはいけないということを思うわけですよ。一つ提案ですけども、是非とも東北の2011年3月11日の震災の被災地をね、子供たちの学校施設を見学してからそれから決めてもいいんじゃないかなと思ってます。これ、ちょっと提案ですけども、それほど真剣になって思ってくれてこの集会に来てくれたんだと思います。ですから、私も真剣であつて孫もいますから、今いすみ市にいますから、やがてはこちらの学校に通わせようと思つています。そういう意味でも身近に孫をですね、いかに安全な学校に通学させたい、そんな思いがございいます。私が長すぎちゃうと皆さんの意見がでないと思つていますので以上にしますが、一つ参考にしていただければありがたいなと思つていますので、話をしめます。以上です。

(町長) はい。ありがとうございます。先ほど説明がございましたけど、この4回の説明会は、0歳から15歳までのお子さんをお持ちの保護者の皆さんと、今議員さんがおっしゃいましたけど、やはりあの議員さんっていう立場は非常に重要なお立場ですよ。ぜひご都合つき次第ご参集お願いしますとお願いしてございます。同時に各行政区の区長様は、今日高山田の区長さんがお見えになってございますけ

ど、先ほども区長さんが見えましたが、行政区長さんにもご参加をしていただき、いろいろ皆さんのご意見をお伺いさせていただきます。議員さんのお答えに関係いたしますけど、あの4か所候補地を一案として執行部が提出した。そういう中で検討委員会の中で2つの候補地を選定していただいと、これは最終決定ではありません。総合的な検討といいますか。先ほど申し上げました、安全性危険性の問題、そして静かな環境、小中教育方針などの重要な観点の教育方針、さらには財政重要な問題と総合的な観点で色々な検討しているということでございます。たまたま今、土井議員さんはご熱弁がございましたけど、議員さんという重要なお立場ですから、ご意見を実現して行くようなお立場であるわけでございますので、そういう中で、今日は議員さんのご意見として伺っておきます。

これから、よりよい学校づくり、子供たちの安全を第一とした考え方を総合的に勘案しながら事業を進めてまいりたいと思いますので、よろしく願います。以上でございます。

(保護者) すみません。ちょっと勉強不足で、わからないですけど、小中一貫ってというのがどれだけメリットというか、理想的なのか。どういった所がいい所なのかっていうのを教えていただきたいです。

(教育長) じゃあ私の方から話をさせていただきます。私も長く教員をやってきました。しかしながら、小中連携教育というものを経験してないものですから、先行実施をしている茂原市、そして長南町の小中学校を視察して、教育長さん、視察した学校の校長先生からお話を伺いました。それをまとめてあるので、私情を挟まずに伺ったことをそのままお伝えしますので、ちょっと聞いていただきたいと思えます。

小中連携教育というのは小中学校の段階で教職員が互いに情報交換したり、あるいは交流を行うことを通じて、小学校教育から、中学校教育への円滑な接続を目指す教育ですということで、小中連携のメリットはなんですかと聞きました。そしたらこういう答えが返ってきました。中学校の敷地内で、小学校が統合した場合はですね、中学生になっても自分を知っている先生が身近にいるから安心感がある。また下手なことは出来ないと感じる中学生に自覚と意識が出てくる。小中連携の連携というのは、学校行事を通じて、例えば音楽発表。中学生男子などの変声した低音の声と女子の声を一生懸命に歌っている様子を小学生が見てたり感動しますということです。そして、特に乗り入れ授業、乗り入れ授業というのは、中学校の先生が、小学校に行って授業するということですが、それはないので、すんなりと小中連携教育はできますということです。同じ敷地内にある場合、小学校からすると身近にお手本となる中学生がいる。今申し上げました。混声合唱、あるいはポスター書き初め展、よく貼ってあるものを見てます。素晴らしいなあって思う。そして、清掃、そしてあいさつ運動をやっています。常に小中学校が情報を共有しているた

め、小学校では何々だったのに、中学校では何々してくれないという保護者からの苦情はなくなると思います。これから小中を合わせて、こういうことやって行きましょうよっていう情報共有する。なので、学校では何々だったのにやってくれたのに、中学校では何々してくれない。小中学校同士が、情報を共有しているので、そういうミスがないと。小学生全学年がお手本となる中学生と接することができるということです。

さて、せっかくなので小中一貫教育のメリットお話をさせていただきます。小中一貫教育というのは9年間、小学校6年間、中学校3年間、その9年間を今まで6・3制度にしていたわけですね。それを小中一貫教育というのは、小学校の前期を4年間、中期を3年間、後期を2年間、つまり5年から6年、中学1年生。ここのいわゆる中1ギャップと申しまして、小学校は学級担任制です。中学校は教科担任制です。しかも、授業が難しくなってくると、中学に行くと。そうするとなかなか今まで馴染んだんだけど、なかなか学級担任の先生と相談できないなあっていうふうなことも出てきて、いわゆる学校不適應を起こすことが往々にしてある。その段差をいわゆる小学校と、中学校の段差をなくすために5年6年中1という、いわゆる中期の段階を作って、そこで、中学校の先生が、例えば外国語の学習、英語ですね、小学校の学級担任の先生がT1、中学校の英語の先生がT2、そしてALTがいて、3人体制で指導しています。そういうような体制を取れるんですよってことで、他の教科でいくと、楽しい理科の実験ということで、毎時間ではないようなので、時々中学校の理科の先生が来て、楽しい時間の実験をしてくださる、中学校というところは楽しいところなんだよってってことで、連携をとっているようです。その他にですね、中学校の音楽の先生の指導により小学生も声が出るようになった。中学校の先生が楽しく授業をしてくれるため、6年生も楽しく授業に参加している。定期的に数学の先生の授業を受けたり、中学校生活の方を知ることができて、中1ギャップへの効果がある。小中の合同の会議を開いて教科の指導法のあり方を共通理解できた。これは先生方の話です。地域に支えられた学校の育ったため、郷土に対して親密感がでた。小中合同の避難訓練やあいさつ運動ができたということで、中学生特に男子なんかは、多感な時期に入ってきますけれども、自分はいつも見られているんだ自分は学校では必要な存在なんだってって意識が生まれてきているということです。以上です。これは私の私情は一切入っていません。ただし、これは茂原市とか長南町で行われていることなんです。これを即御宿町にということを考えている場合に、このことはやっぱりちょっと検討しなきゃならないなあっていうことが今の状況です。で、これが布施小学校の敷地になった場合、中学校とちょっと離れますよね。でも小中連携はできると思います。子供の移送等しっかりすれば。中学校の方では小中連携から一貫に移行がしやすいにことなるんじゃないかなというふうに考えてるんですけど、まだ自分も検討段階なので、他にもっと研究しなきゃならないことが出てくるかもしれません。どちらとも検討の段階です。

(保護者) ありがとうございます。私は移住して7年目なんですけど、私自身はちょっと、小学校、中学校の一貫は経験していないんですが、中学、高校とか私立の一貫校に行っていたので、その良さわかるんですけども、やはり校舎だったり、施設のところが本当に子供に適したサイズになるのかっていうところが知りたいのと今子供が2人いるんですけど、今は小学3年生の年中なので、御宿中学校をちゃんと施設を見たことがないので、そこが具体的にイメージが出来ていないので、それがどこまで行くのかなあと心配というかそこを知りたいです。あと一番最初に説明があったように、子供の人数、今後も児童生徒数について、どんどん少子化で減ってくっていくところで、私としてはやはり移住して、御宿町が良いと好きで移住してきて、今後も今の社会状況も見て田舎暮らしとか、そういう都会じゃなくて、こういった千葉に広がっていく方向もあったりするんじゃないかと思ったりする中で、御宿町としても増やして行きたいとか、そういったビジョンも是非持っていると思うんですけど、そこが見えなかったんで、そこがどういうふうと考えられているのかなっていうのを知りたくて。例えばいすみ市とかイメージ的には具体的に数字が分かってないんですけども、いすみ市の方が移住促進してて、実際に増えてるんじゃないのかなと思って。それがどのぐらい増えてるのかなとか、今までよりも増えているのか、私の経験的にも、やっぱり引っ越しちゃう子もいれば、増えていたりもするので、そんなに増えてないのかとか、そういった最近の数年の子供の流動数ですかね。そこも分かったらそれを知りたいです。それが今後の学校のビジョン、人数を収容することにも関わる答えもあるだろうし、御宿町としてもどんなふうの子育て世代を増やすとか、そういうところのお話も聞きたいと思います。

(町長) 貴重なご意見ありがとうございました。全体的にですね。人口減少が進んでおりますので、やはり人口増加策ですとか、若い人たちの移住政策とか、一生懸命やらせていただいているんですけど、転入転出とか転入でどのぐらい来たかっていうのは、表になって記録としてあるんですけど、今ご指摘がありました。その中で若いご夫妻、家庭ご家庭ですねそういう方たちは何年とかそのぐらい来ているのかっていうのは、十分な把握をしておりません。今非常貴重なご意見をいただいて、ありがたいと思ってるんですけど、しっかりとこのへんを把握しながら、今後の学校の例えば子供数の影響にも関係してきますから、近々機会を見つけて、何らかの形で皆さんに情報発信して行きますので、よろしくお願いします。

(事務局) その他ご質問ございますでしょうか。

(保護者) 布施小学校って組合立で全国的にとっても貴重な小学校であの地元の方がすごく関わってて運営されてるところで、私も地区は須賀なんですけど、将来的に布施小いけたらなと思ってたから個人的には布施小が残ると、いいなと思

っているんですけど。私も移住してきたものなんですけれども、都会から来た人にとっては布施小みたいな環境っていうのは憧れだと思うので、これからアンケートとられるっていうことなんですけれども、今2択になっている御宿中学校と、布施小学校で両極端な方針があると思うんですよ。結局、中学校になる場合は小中一貫っていうことでわりと先進的な教育が行われるのかなと期待しているんですけども、逆に布施小になった場合は昔ながらの御宿のよさが残った、地域の方と深く関わるような、小学校になるのかなと思っていますので、アンケート取られるということで、お子さんお持ちの皆さんが、どちらの方がどういった方針を望むのかっていうのは明確にわかるように取っていただけたらと思います。ですので、質問じゃなくて申し訳ないです。質問なんですけれども、あの布施小になった場合、これまでに組合の運営っていうのはどう変わっていくかっていうことと、あとスクールバスっていうのが御宿中学校になった場合と布施小学校になった場合も対象になるのかっていうのをちょっとお聞きしたいです。よろしくお願いします。

(町長) はい、ありがとうございます。とりあえず2つについて、スクールバスのことにつきましては、いずれにしても、当然必要になってきますので対応して行きます。ただ、範囲は違うと思います。布施小の場合は、ほぼ全全域的なスクールバスの展開が考えられますけど、御宿中学校の場合は一部地域については近い行政区もありますから、そのような形になるのかなと思いますので、それと組合立の関係はですね。町村合併時にこの課題が出まして、組合立になったとかなり前のことなんですけど伺っておりますので、例えば布施小学校ではない御宿小学校になった場合、今の統合問題について同時に進めておりますけど、布施小の保護者の皆さんが統合検討委員会というのをお作り頂きまして、先般統合時期についてご希望のご意見をいただきました。令和7年3月を希望しますというようなことはきておりますので、そういうこともすべて加味しまして、それと、もう一つ、この今更新の問題はまた別ですから、そういうことで考えておりますけど、いずれにしても布施小学校が組合立である布施小学校がなくなる場合はいすみの市長代表と御宿町代表を基本に協議を進めていくことになります。皆さんのいろんなご意見を伺いながら、今まで共同で協力しながらやってきたことがなくなるということで、内容的にどういうふうに解決して行くのかということは、今後の課題としてありますので、動きはあると思います。ありがとうございます。

(事務局) 他にございませんでしょうか。

(保護者) 議員さんが御宿台のあのラビドール下のあたりの原っぱあの辺なんかいいんじゃないかっておっしゃってたじゃないですか。町長も11月22日のときに布施小と御宿中の2択っていうのはあくまで参考なので他の候補地もアンケートに挙げてくださっておっしゃってたんですね。アンケート2択ってずっと言ってるけ

れども、そうやって他の候補地も挙げてくださってということだったら、例えばその他っていう選択肢があるとか、あとあまりにも判断材料がなくてわからないっていう選択があるとすれば、1000出したところで2択だと800の200って分かれて御中になりましたっていう結果が出るかもしれないけれども、例えば御宿中200布施小200御宿台辺りとかが良いっていうその他が300わからないが300で出た場合、御宿中でも、布施小でもなく、御宿台がいいっていう結果にもなるし、わからないっていう数字がすごく多いのに、これで決めちゃうのってというような結果を見ることができるとなるので、アンケートの出し方が2択でいいのかなって、そこを検討して、どういう数字がかえってくるかっていう材料になるじゃないですか。わからないとか御宿台が実はいいんだなって。なので、一つはそういう2択じゃないかなってところを検討してほしいというところです。実際、ふんわりした話でよくわかってなくて、今回の予算っていくらなんでしょう。布施小学校を取り壊すっていう値段はいくらなんでしょう。さっき言った御宿台のラビドール下の原っぱのところ、商業地の目の前の空き地は、あそこは多分、西武さんに言えば、ビジネスチャンスなんですよね。小学校が出来れば。見積もりとか交渉した場合、そこがいくらなんでしょう。その値段が最初は壊すのと、同じ値段でその土地が買えるんだしたら、そこにまっさらなところに建てられるわけなので、町有地で絞って、うちらはなんか選択肢を渡されちゃってるけれども、予算っていうのも私たち知らないでこの話をしていて。あの場所ならこども園にも送迎しながら、小学校があってっていうルートにもなるし。すごくいい場所だけど、それをなんか選択肢に入れてもらえてない時点で、ちょっとこう狭い中で選ぶしかないと思込んでしまうのでしょうか。その建て替えの予算が知りたいです。小学校の取り壊しの予算とか、明確な数字がわかれば、それも判断材料があると思うので、数字が欲しいです。

(町長) あのどこまで正確な数字をだせるかっていうのはありますけど、あくまでもまだ設計に正式になってませんので、概算ということになりますよね。できるだけそういう判断材料は、ある程度に研究をさせていただきたいと思います。現在で申し上げますと、先ほども説明がございましたけど布施小学校が教室の規模が小さく、布施小学校の場合は全部取り壊して建て替えです。今およその概算、全くの概算ですけど、16億5000万です。御宿中学校の場合はおよそ11億ぐらい。そして、例えば今御宿台がございまして、御宿台の場合は土地を別にして、やはり今更地ですから、体育館から校舎から何もありませんけど、全部建設するわけですね。それとプラス土地代金はあります。今、通称言われていることは一坪5万とか6万ぐらいとすると6万として1㎡2万です。20,000㎡御宿台の、小学校は24,000㎡ありますけど、布施小学校17,000㎡です。まあ、概略して2万としても4億、こういったものが加算されるわけがございまして、果たして全施設を建設するのに大まかな話を申し上げておりますので、全施設を建設して、新しく土地を購入した時

に財政が耐えられるかと。これはまあ、本当に子どもの命と財政は別って言いますがやっぱり一つの参考と言いますかね考慮していかなければならないと。校内及び金融関係の状況、学校を作って財政が立ち行かなくなる、これもやっぱり避けていかななくてはいけない。そういった総合的な観点から、やはり検討していかなければいけないと考えておりますので、ご理解をお願いします。それと先ほどアンケートに2つの案が出てまして、そういう形でもしやらせていただくことであれば、それを次にその他のご意見を書けるようにいたしますけど、そこでいろんないい案が出てきた場合、それを検討する。検討委員会で、先ほど申しあげました4点の観点からですね。安全性とか、あるいは、小中一貫小中連携の実現の可能性、あるいは静かな関係であるとか、そして総合的な観点で再検討した中で、それが一つの方法としてなりえると言うことの検討に出てくるかということ、検討委員会で入れて、これまでの経過ですと二つの方法が出ておりますので、それと同時にひとひとり、そういったこういうことがあるということが、こういうところがいいんじゃないかとあった場合は今言った総合的な関係で検討する必要がありますので、そのように進めて行きたいと考えてよろしいでしょうか。

(保護者) すみません、ちょっとあのこの説明会の趣旨とずれるかもしれないんですけど、御宿小学校は老朽化ということも踏まえて、あの建て直しになるんですけど、そうすると御宿小学校は取り壊されるのでしょうか。

(町長) はい、ありがとうございます。結果的に耐用年数が来ていますので、取り壊しは当然しなくちゃいけないなと考えております。そういう中で、先日の説明会でもご意見いただきましたけど、校舎更新の課題を進めると同時に、跡地の活用について、同時に検討協議会を中心に検討してくださいというご意見をいただきましたので、できるだけ早くですね。跡地の利用についても課題に加えるようなご意見をいただいでいきたいと思っております。ありがとうございます。

(保護者) 元々の保育所もそうなんですけど、旧保育所、岩和田小学校も。岩和田小学校は体育館がまあB&Gの管轄で使われることもあるんですけど、やっぱり使われてない校舎は建物がだんだんこう、誰も管理されていないで活用されないでそのまま残っているっていうのはもったいないなっていうのもあるし、危ないなっていうのもあるので、御宿小学校は解体が決定しているのかもしれないんですけど、他の小学校とかを御宿保育所などの取り壊しなり活用なりも取り組んでほしいなあと思っています。ちょっと趣旨がずれるかもしれないんですけど、私の個人的なお願いです。

(町長) はい、ありがとうございます。ご指摘の通りです。現在、町には公共施設が多くございまして、現在公共施設総合管理計画を立案中でございまして、この12

月の定例会議に提案しますが、より具体的にですね、この施設は長寿命化で活用していこうとか、この施設はもう解体の状況だとか少しずつ進んでいますので、財政の予算との関係を考えながら準備するものは準備してより明確に進めていきますので、よろしくお願ひします。

(保護者) アンケートの中身は候補地を選ぶだけでしたか? その例えば、選択する上で、どんな理由でここをここにしますかとか、そういったことをあの明記する部分があるのかを聞きたいです。夏にタウンミーティングに御宿町民が集まって、これからの未来をどんなふうに行きたいねっていう話をした時に、本当に町民の方々のいろんな意見が出て、皆さんそれぞれの思いが溢れて夢がいっぱいだったんですね。皆さんもきっとどんなふうな小学校が良くて私はここにしますというような思いがある方もいらっしゃると思うので、そういったことをせっかく1,000名の方にアンケートするのであれば、意見交換とか、紙面を通じてということになるかもしれないんですけども、そういったことがされるのかなあと、アンケートの内容とかももう一度ご確認いただいていいですか。どんなことが聞かれるのか。

(事務局) アンケートの中身ということで、まず年代と性別、お住まいの地区の方をお聞きします。そして御宿小学校を更新する上で最も重要と思うことについて、5つほどですね。選択していただいて、そちらの方記入していただくと考えておりました。その重要と思う項目の中にはですね、先ほど出ました スクールバスの運行ですとか、小中連携一貫教育の推進ですとか、学校施設の一般開放ですとか、グラウンドの広さとか、財政規模に合わせた建設等々ですね書かせて頂いておまして、皆様が気になっているだろうなというものの項目を、あの私共の方で抽出させて頂いて、そちらの方を選択していただくような形を考えております。そしてですね、候補地について当初の予定ですと、どちらが良いですか、ということで布施小学校と御宿中学校の敷地の良いところを提示させていただいて、アンケートの実施しようと思ってましたけれども、この何回か行いました説明会の方でも、先ほどもお話しておりました通り、その他っていう欄があってもいいじゃないかっていうような話もありました。今回の4回の説明会の方を受けて、いろいろとまた持ち帰らせて頂いて検討させていただいて、より良いアンケートになるような形で、再考しまして、また皆さんの方にお知らせをしたいと思っています。あと、その他のご意見ということで、自由記載というところも、ご用意させていただいております。よろしいでしょうか。

(検討委員会委員) 施設検討委員の一人です。当初、御宿中学校の校舎を小学校として使用して、中学校の校舎を別に建てるという考えがあったんですけども、それは不可能だということになりました。布施小学校と御宿中学校、2つが絞られて

きた形なんですけれども、皆さんにいろいろご意見を伺って、他にもいろんな適当な土地があるのかなということも感じています。今、アンケートに対するご意見がだいぶまとまってきているようようなので、そこでちょっとあのお願いしたいんですけれども、敷地とか校舎とか遊具とか駐車場とかの配置図、具体的な設計っていうのは動きが始まってからじゃなきゃできないと思うんですけれども、だいたいどんな敷地があって、どこに校舎を建てて、どこに遊具を配置して、どこが駐車場になるのかっていうおおざっぱな計画くらい配置図みたいなのはつけていただいたほうが、アンケートを考えると、現地に行ったとしても、どこに校舎が建ててどこに遊具が配置されるのかっていうことをイメージするのに必要なんじゃないかなっていうふうに思います。特に小学校の場合は検討委員の意見の中からも出てたんですが、幼少期ののびのびとした子どもたち発育のためには、遊具の配置っていうのは大変重要なものになってくるわけですし、それから安全面ですか、子どもたちはどこでどんなふうに遊んだり活動したりしてるのっていうことの安全を確保するという意味でも、教師の目が届くということは非常に大事なことになると思うので、ここらへんも併せて検討していただけたらなというふうに思います。よろしくお願ひします。

(町長) はい、ありがとうございます。今ご指摘いただきました件につきましては、昨日の説明会でもご指摘いただいておりますので、できるだけ配置図、概略になりますけど、それが最終決定ではないというによってですね、できるだけ皆さんがご判断にプラスになる参考になるの配置図を作って検討はさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(事務局) その他、よろしいでしょうか。

(保護者) さっきの2時の会の時に、若いお母さんが言ったことを多分ここに居るママたちは知らないんで、ちょっと出しておいたらいいかなと思って、小さな人数のお話交流会っていうのを希望するということを言っているお母さんがいて、ここはとても広くて、ちょっとこう言いたくても言えないとか、意見が出しづらいついていうふうに言っていて、それに対して町長さんはそうですね交流大事ですって言うてくださって。それをアンケートをとる前にちゃんといろんな意見を出したり聞いたり、お互いになるほどそういうことかっていうことが分かってからアンケートをとるっていうことなのか、アンケート並行しちゃっていいのか。アンケートの後に交流してもいいのかっていうことを何か確認したいっていうふうにいってたんですね。で、そのお母さんはまあいつでも並行でもなんて言うてたけれども、やっぱり、現状とか分かった上で、交流してわかった上でアンケートっていうことじゃないと数字は変わってしまうんだろうなと思うんです。説明会を受けてみんなが感じたり、現状とか困ったり前提などを盛り込んだことを話して、それだったらどっち

がいいんだろうとか、どこがいいんだろうっていうアンケートの丸付けっていう段階を含むっていうことをお願いしたいなって思います。それをアンケートの前に交流会というわけです。ここにわざわざ来ている人たちは、こども園の親ってことは、ほとんど御宿中の事なんて言われてもわからないんだろうなあって思うので、それをちょっと分かるようにしてあげないといけないんじゃないかなって。だけど配置図もそうなんです。布施小についても実際に行ったことないなとか、ちょっとしか知らないなって。布施小はもともと小学校と、中学校が建っていたところなので、場所的には広いんですけどね。御宿中は今100人近くいて、4年か5年経っても100人ぐらいなので、今の状態変わらないので車がパンパンだけど、さっき言っていた小中一貫の音楽発表会を小学生が見るとかいう機会だった場合、車どこにどれだけ置けるんだろうって本当に不思議に思うんです。多分、校長先生とか通ってる親とかだけでも車いっぱいなんですよ、停めるのね。中学生だけで。人数はほとんど変わらないから。そこに校舎を建てる。校舎は先生たちの駐車場を潰すって言うてたんです。あとは駐輪場も潰す。そこが校舎になるっていうと、先生は、小学校の先生もいるし、中学校の先生もいるから、その先生の車はどこに置くんだろうとか、本当にこう間口を広くして渋滞が起こらないようにするって言うて、中庭の方まで行っちゃったら、今度遊具はどうなっちゃうんだろうとか、さっき言っていた配置図っていうのが、どれぐらい参考になるかわからないけど、ないよりは必要だろうし、そういうのも全部把握して、それで決めないってことだと思います。もううちの子だって2年生なので、4、5年経ったら中学生なんです。だからこども園に通ってるお家の子が主人公のことなので、何か私たちもできたらいいなって思って、こうやって意見を言えたらと思ったんですけど。説明会の後の交流会というのを希望します。あと、そういう配置図も必要だと思います。お願いします。

(町長) ありがとうございます。今2つありましたけれども、交流会につきましては先ほどの2時からのご意見のあの方のだいたいの考えはわかったんですけど、アンケートの後の交流会ということで、ちょっとイメージが湧きませんので、あとで具体的にですね。お話をさせていただきたいなと思っております。全体を通してですね、今ご意見ございましたけど、御宿中学校にしても、布施小学校にしても、なかなかイメージがわからないというか。施設が行ったことないとか把握してないとかそういうのがありますので、各学校と一応協議というか、話をしまして施設見学会的なものが可能なかどうか、できたら当然した方が良くないなと思いますけど、その辺の検討もさせていただければなと考えております。まあ配置図の件、現段階で詳細なものが、なかなか100%に近いものは出せないと思いますけど、いま考えている状況の中での配置図は、できるだけ精査してお話させていただきたいなと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(事務局) それはよろしいでしょうか。それではただ今いただきました。ご質問、

ご意見と、これまで3回行いました説明会のそれぞれの前の回でのご質問は、終了後に取りまとめさせていただきまして、皆様の方にお知らせできればと思っております。それでは以上もちまして御宿小学校校舎更新にかかる経過説明会を終了いたします。お忙しい中ありがとうございました。